

様式第7号ア（認定を受けようとする課程を有する大学・学科等における教員養成の目標等に関する書類）

（１）大学・学科の設置理念

①大学

本学は、学是「三敬精神」（己を敬う、仕事を敬う、他者を敬う）を教育の基盤として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を研究教授し、知的、道徳的および応用的能力を展開し、学業を通じて人格を陶冶するとともに、歴史的変化への適応能力と総合的な判断力を培い、創造的自立的に行動する人間性豊かな人材を育成し、社会の文化向上に寄与することを教育理念としている。

②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

上記の本学の教育理念に基づく美術学科のディプロマポリシーは以下の通りである。

1. 制作・理論において専門領域を超えて、総合的な判断力を身につけている。
2. 制作・理論において個性を発揮し、創造的・自立的に行動できる能力を身につけている。
3. 制作・理論において豊かな教養と幅広い知識を有し、造形の基礎力と専門的技術力・表現力および知識を身につけている。
4. 国内外のコンクール、個展、学会などに積極的に出品している。
5. メディアリテラシーを有し、インターネットを活用できる能力を身につけている。

（２）教員養成の目標・計画

①大学

教員養成の目標

本学の教育理念は上記のとおり社会の文化向上に寄与することをうたっている。また教育理念の根幹である「三敬精神」にのっとり制定されたアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき、深い専門性と専門を横断する総合的な視点を有し、創造的自立的に行動する人間性豊かな人材の育成を行なっている。これを踏まえ、時代の要求する新しい表現手段と時代に適合した新しい視覚文化に対応できる感性の豊かな人材の育成を担う教員を養成し、社会に貢献できる人材を排出することで、社会の文化向上に貢献することを目標としている。

計画

教職課程は、美術の各分野を横断するカリキュラムを設定し、教科の専門性を高めるとともに総合的な視点を養う教育を実施する。また理論および美術史などの教育も包括し、実技と理論をバランスよく配し、技能を養い、教科の知識を深め、技能を応用・発展へと展開する能力を養成する。

教職課程の授業の中で何を学んだのかを振り返るとともに、今後どのような学習が必要なのかを自分で考えるための手掛かりとして「教職履修カルテ」を作成している。毎年の学びや体験を積み重ねていくことで、教職への希望を現実的なものにすると同時に、自己理解を図ることを考えている。

本学には、附属の中学校・高等学校が設置されており、教育実習の受入や教員による授業等を行う。

②学科等（認定を受けようとする学科等のみ）

美術学科における高度な専門教育を基盤とした教科に関する専門知識とこれらを教育現場で生かす実践的教育技術を身に付けるとともに、教育者としての使命感と教育現場で直面する様々な諸問題に対応するうえで求められる幅広い教養とコミュニケーション能力を有する教員の育成を目指している。

以下のような教師としての資質・能力を育成する。

【教職に対する使命感】

- ・教育者として使命感を持って様々な教育問題に対応するために、常に自己研鑽に努め探究心を持って自主的に学び続ける教師

【実践的指導力】

- ・専門職としての知識や様々な課題に対応できる実践力を身に付けている教師

【豊かな人間性】

- ・幅広い教養を通して人間理解の上に、人と関わるができる教師

（３）認定を受けようとする課程の設置趣旨（学科等ごとに校種・免許教科別に記載）**高一種免（美術）**

本学は北関東で唯一の美術大学であり、美術の高い専門性を持ち、地域の芸術文化向上を担える人材を養成することを目的として開学した。開学以来地域連携に関わる特色ある科目を多く設置し、地方自治体や地場産業とのプロジェクトを展開し、積極的に地域活性化に取り組んできたこともあり、現在栃木県内の10の市町と連携協定を結んでいるように、地域での評価も高まり、期待も大きくなってきている。大学での美術の専門的な講義、実技科目での学びとともに、地域社会との連携プロジェクトへの参加を通して人とのつながりを確認し、社会活動に加わり、コミュニケーション能力を身につけ、課題を自ら見つけ解決する能力など人間力をつけた学生の卒業後の社会的活躍の場として教職は、大変望ましいものと考えられる。また、教員免許が取得できることは、美術系大学への進学を考える高校生や保護者、高校の進路指導担当の教員や美術の教員からの強い要望である。さらに、現在は教員の大量退職の時期を迎え、若手の教員が少ないともいわれている。美術系の大学である本学に「教職課程」を設置することで、美術や地域連携の授業を通して学んだ資質や能力を発揮し、専門性と社会性を有した教員を輩出することは、社会のニーズに応えるとともに、地域文化の向上に寄与するという大学の目的にも合致する。以上が「教職課程」設置の主たる理由である。

様式第 7 号イ

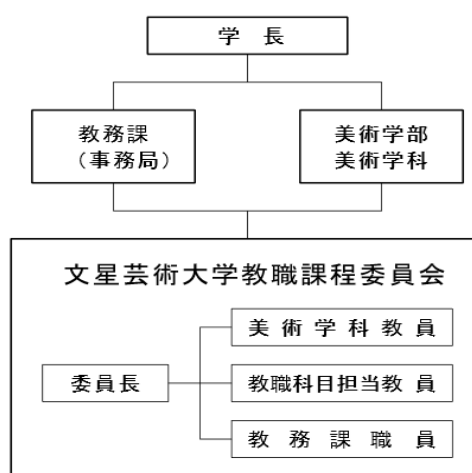
Ⅰ. 教職課程の運営に係る全学的組織及び各学科等の組織の状況

(1) 各組織の概要

組織名称：	教職課程委員会
目 的：	教職課程の運営を行い、問題等の対処を行う
責 任 者：	委員長
構成員(役職・人数)：	委員長(副学長)、教務部長、学生部長、教授 2 人、教務課長
運営方法：	毎月 1 回(8 月、9 月除く)、年 10 回開催する。 教育実習に向けての学生の指導、教育課程に関する問題の解決など

(2) (1) で記載した個々の組織の関係図

教職課程委員会は教務課と密接な連携のもとに教職の運営にあたる。



Ⅱ. 都道府県及び市区町村教育委員会、学校、地域社会等との連携、協力に関する取組

(1) 教育委員会との人事交流・学校現場の意見聴取等

文星芸術大学附属高等学校および宇都宮文星女子高等学校と連携しながら、学生の受け入れ、教員の派遣授業などを定期的に行なっている。

(2) 学校現場における体験活動・ボランティア活動等

取組名称：
連携先との調整方法：
具体的な内容：

Ⅲ. 教職指導の状況

4 月のオリエンテーションの時に、教職課程のガイダンスを行い、全学生に向けて履修やカリキュラムについての説明を行う。各種相談については、教職課程委員会が対応し、定期的な委員会のみならず、臨時に委員会を開催し、解決する。

様式第7号ウ

<美術学科> (認定課程: 高一種免(美術))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	・教職の意義や教職に就く心構えを学ぶとともに、教職に関する基礎的・基本的な知識を習得する。 ・教科の内容について包括的に理解し、基礎的・基本的知識と見方・考え方・技能を習得する。
	後期	・教育の理念、教育に関する歴史及び思想について理解を深める。 ・発達と教育、学習過程や動機づけなど教育心理学について基礎的な知識を習得する。 ・教科の内容について包括的に理解し、基礎的・基本的知識と見方・考え方・技能を習得する。
2年次	前期	・教育制度や教育課程についての意義役割、法的位置づけなどを学び、理解を深める。 ・総合的な学習の時間・特別活動の実践上の基礎的知識を習得する。 ・学校の教育目標やねらいなどを実現するためにどのように計画を立案、編成することが必要かについて理解する。
	後期	・教科指導の基本となる教育方法・評価方法について理解を深める。 ・特別の支援を必要とする生徒に対する理解を深める。
3年次	前期	・教科教育についての基本的な理解、授業展開、指導案作成等について具体的な手法を学び、理解する。
	後期	・学校教育における教育相談の意義、役割等について理解し、実際の教育相談の手法等についての基礎的・基本的知識を理解できるようにする。
4年次	前期	・教育実習についての準備を行い、教育実習における教科指導等のあり方について理解できるようにする。 ・教職課程において最も重要な教育実習に参加し、教育の実態を体験的に理解するとともに、教職に対する責任を自覚し、意欲を高める。
	後期	・教職課程での学修を経て身につけた資質や能力についてさらに高めるとともに、教育実習における課題を解決することができるようにする。

様式第7号ウ（教諭）

＜美術学科＞（認定課程：高一種免（美術））

（2）具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称						
		各教科の指導法に関する科目及び教育の基礎的理解に関する科目等		教科に関する専門的事項に関する科目	大学が独自に設定する科目	施行規則第6条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目	
年次	時期	科目区分	必要事項					科目名称
1年次	前期	2	C	教職概論	共通基礎演習Ⅰ（絵画）		英語Ⅰ	
					共通基礎演習Ⅱ（彫刻）		体育実技Ⅰ	
					共通基礎演習Ⅲ（デザイン）		IT基礎Ⅰ	
					日本美術史Ⅰ			
					西洋美術史Ⅰ			
					色彩論Ⅰ			
	後期	2	B	教育原理	造形演習Ⅰ（日本画）		日本国憲法	
		2	E	教育心理学	造形演習Ⅱ（彫刻）		英語Ⅱ	
					美術理論		体育実技Ⅱ	
					日本美術史Ⅱ		IT基礎Ⅱ	
					西洋美術史Ⅱ			
					色彩論Ⅱ			
2年次	前期	2	D	教育制度論	美術鑑賞			
		2	G	教育課程論				
		3	IJ	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法				
	後期	2	F	特別支援教育概論	東洋美術史	ボランティア実習Ⅰ		
		3	Q	教育方法論				
		3	R	ICT活用の理論と方法				
3年次	前期	1	A	美術科指導法Ⅰ				
		3	LN	生徒・進路指導				
	後期	1	A	美術科指導法Ⅱ	総合デザイン論	ボランティア実習Ⅱ		
		3	M	教育相談				
4年次	前期	4		教育実習事前事後指導				
		4		教育実習				
	後期	4		教職実践演習（高）				